

経食道プローブ T8-3 ケアガイド



警告

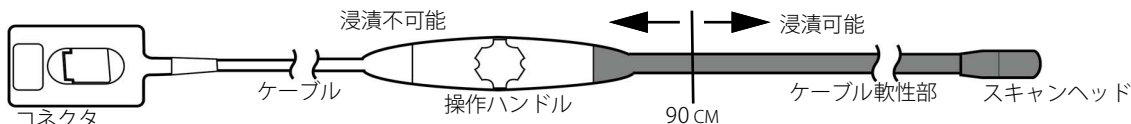
- ▶ 適切な個人用保護具 (PPE) を着用してください。
- ▶ 手順を一部飛ばしたり、省略しないでください。



注意

- ▶ プローブ表面に付着した体液を乾燥させないこと。プローブは使用後直ちに洗浄してください。
- ▶ プローブ軟性部を曲げ直径 20 cm 以下に曲げないこと。
- ▶ プローブを落下させないこと。落下させてしまった場合には、使用前に漏れ電流試験および温度較正を行ってください。
- ▶ 承認されていない洗浄剤は使用しないこと。プローブを損傷し、保証が無効になる可能性があります。承認された洗浄剤・消毒剤の詳細についてはウェブページ (www.sonosite.com/support/cleaners-disinfectants) を参照してください。
- ▶ 操作ハンドル、プローブケーブル、およびコネクタは液体に浸漬したり、または液体を噴霧しないこと。コネクタに湿気が浸入しないように留意すること。
- ▶ 薬剤製造業者が推奨する浸漬時間を超えてプローブを浸漬しないこと。濃度、温度および浸漬時間に関しては、薬剤製造業者の推奨事項に従ってください。
- ▶ 保護カバーをかぶせて保管していない場合は、使用前に必ずプローブを消毒すること。

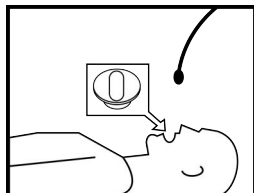
プローブのお手入れの際は、以下の図を参照してください。



損傷防止

STEP 1

常にマウスピースを使用すること。患者が入歯を装着している場合、口腔内にバイトガードを挿入する前に入歯を取り外します。

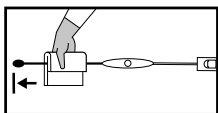
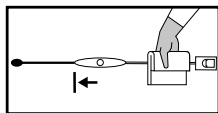


前洗浄

STEP 2

プローブ表面上の生物物質を乾燥させないように、プローブは使用後直ちに洗浄します。

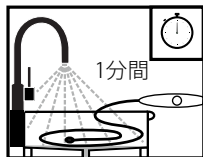
- 水を含ませた清潔な布を使用して、プローブケーブルおよび操作ハンドルを清拭します。コネクタは清拭しないでください。
- 2 枚目の清潔な布に水を含ませて、ケーブル軟性部およびスキャンヘッドを清拭します。損傷の兆候がないかプローブを点検します。破損が認められた場合には使用を中止してください。



洗浄

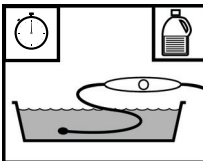
STEP 3

室温の清潔な流水でケーブル軟性部およびスキャンヘッドを最低1分間すすぎ洗います。プローブケーブルおよび操作ハンドルはすすぎ洗いません。



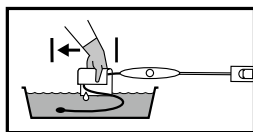
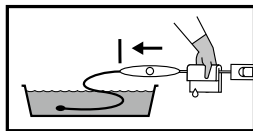
STEP 4

スキャンヘッドおよびケーブル軟性部を 90 cm のマークがある部分まで承認された洗浄剤に浸漬します。操作ハンドルが溶液の中に浸からないようにします。洗浄剤の使用期限を確認し、浸漬時間および温度に関しては薬剤製造業者の使用方法に完全に従ってください。



STEP 5 浸漬中、

- プローブケーブルおよび操作ハンドル用に承認されたワイプを使用して、プローブケーブルおよび操作ハンドルを清拭します。
- 洗浄剤を含ませた清潔でやわらかい布またはスポンジを使用して、スキャンヘッドおよびケーブル軟性部を清拭します。



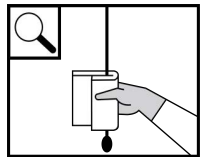
STEP 6

室温の流水でスキャンヘッドおよびケーブル軟性部を最低3分間すすぎ洗います。プローブケーブルおよび操作ハンドルはすすぎ洗いません。生体物質が残留していないことを確認します。まだ残留している場合には、再度洗浄の手順を繰り返します。



STEP 7

清潔でリントフリーのタオルで、プローブを乾燥させます。損傷の兆候がないかプローブを点検します。破損が認められた場合には使用を中止してください。



承認された洗浄剤および消毒剤に関しては、ウェブページ www.sonosite.com/support/cleaners-disinfectants で「CLEANERS AND DISINFECTION TOOL」を参照してください。

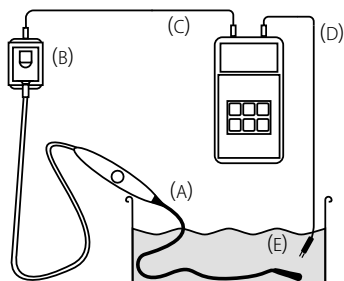
漏れ電流試験



漏れ電流テスターの使用方法的詳細については「ULT2000 SERIES USER MANUAL」を参照してください。

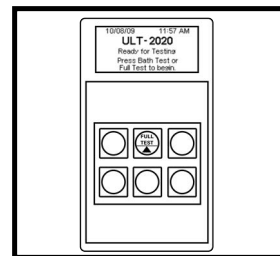
STEP 8 試験機器のセットアップ

- ケーブル軟性部を 90 cm のマークがある部分まで浸漬します。操作ハンドルは試験溶液に浸からないように固定します。
- プローブコネクタをプローブアダプタに挿入します。
- プローブアダプタを漏れ電流テスターに接続します。
- 導電率プローブを漏れ電流テスターに接続します。
- 導電率プローブセンサーを承認された漏れ電流試験用溶液内に浸漬します。導電率プローブを T8-3 プローブに接触させないでください。



STEP 9 漏れ電流試験の実施

- 漏れ電流テスター ULT-2020 の電源をオンにします。
- 「Device Configuration」が表示されるまで **MODE** を繰り返し押します。
- 漏れ電流テスターの設定が FUJIFILM SonoSite T8-3 プローブになっていることを確認します。設定されていない場合には、必要に応じて設定を変更します。
- ケーブル軟性部、スキャンヘッド、および導電率プローブのセンサーが完全に漏れ電流試験用溶液に浸漬されていることを確認します。
- FULL TEST** を押して試験を開始します。試験中、ケーブル軟性部、スキャンヘッド、および導電率プローブのセンサーが浸漬された状態を保つよう留意してください。

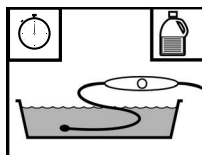
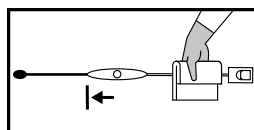


試験結果が不適合の場合、プローブは使用しないでください。修理のためにFUJIFILM SONOSITE, INC.または最寄りの販売代理店に連絡してください。

消毒

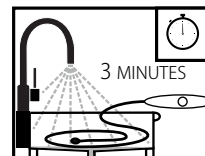
STEP 10 プローブの消毒

- プローブケーブルおよび操作ハンドルの消毒用に承認された消毒液を含ませた清潔でリントフリーの布または Sani-Cloth を使用してプローブケーブルおよび操作ハンドルを清拭します。コネクタは清拭しないでください。ワイプの使用期限を確認し、接触時間に関しては、薬剤製造業者の使用法に完全に従ってください。
- 貴施設の方針に従い必要な場合は、薬剤製造業者が指定する接触時間が経過した後、水を含ませた清潔なリントフリーの布またはスポンジで消毒剤をふき取ります。
- スキャンヘッドおよびケーブル軟性部を 90 cm のマークがある部分まで、承認された消毒剤に浸漬します。操作ハンドルが溶液の中に浸からないようにします。消毒剤の使用期限を確認し、浸漬時間および温度に関しては、薬剤製造業者の使用法に完全に従ってください。



STEP 11

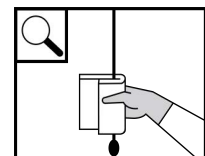
室温の流水で最低3分間スキャンヘッドおよびケーブル軟性部をすすぎ洗います。プローブケーブルおよび操作ハンドルはすすぎ洗いをしないでください。



STEP 12

清潔でリントフリーの布または医用空気を使用してプローブを乾燥させます。

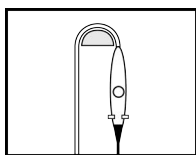
損傷の兆候がないかプローブを点検します。破損が認められた場合には使用を中止してください。



持ち運びおよび保管

STEP 13

プローブの持ち運びおよび保管に関しては、貴施設の方針に従ってください。



T8-3プローブの洗浄・消毒、持ち運び、保管に関する詳細情報は、「経食道プローブT8-3ユーザーガイド」(P21925)を参照してください。

SONOSITE は複数の法域において FUJIFILM Sonosite, Inc. の登録商標です。FUJIFILM および FUJIFILM VALUE FROM INNOVATION は複数の法域において FUJIFILM Corporation の登録商標です。その他の商標はそれぞれの所有者の資産です。
Copyright © 2025 FUJIFILM SonoSite, Inc. All rights reserved.

P21941-02

外国指定高度管理医療機器製造等事業者
FUJIFILM SonoSite, Inc. (米国)

選任製造販売業者
富士フイルムメディカル株式会社

一般的名称：汎用超音波画像診断装置 (40761000)
販売名：Sonosite PX シリーズ
構成部品：経食道プローブ T8-3
医療機器のクラス：管理医療機器、特定保守管理医療機器
医療機器認証番号：302ADBZ00086000

CE
2797

